

2/16 (木)
12:50~15:30
@弁天会館

第3回 WS 開催！来年度のちこほこ（千葉公園通りホコ天）で試してみたいことを議論！ 22名の参加者の皆様にお集まり頂き、3つのエリアテーマをもとにグループワークをしました。

第3回 WS では、まち歩き、第1回、第2回と重ねてきたワークショップ（以下 WS）での意見をまとめ、各エリアのテーマを設定した上で、来年度のちこほこ（千葉公園通りホコ天）で試してみたいことをグループで議論しました。



A グループ：千葉公園通り北口エリア

【テーマ】公園と相對した緑の拠点づくり



- ・公園通りらしさを感じる
- ・仮設的に活用してイベント利用（公園通りの顔となる滞留空間）
- ・千葉公園と繋がる緑あふれる広場
- ・地域の情報をわかりやすく表示

【意見まとめ】

- ・照明柱があるところに代わりにシンボルツリーを設置。
- ・サインをもっと魅力的にして、エリアの全体像がわかるように。
- ・千葉公園に相對する緑として、線状に緑を配置して公園と公園通りとの緑のつながりを出せるとよい。
- ・プランター設置後の維持管理の仕組みの検討が必要。（例えば食べられる植物を導入し飲食店の料理に使えると良い）
- ・弁天神社（厳島神社）の柵に統一感があると良い



B グループ：千葉公園通り中央エリア

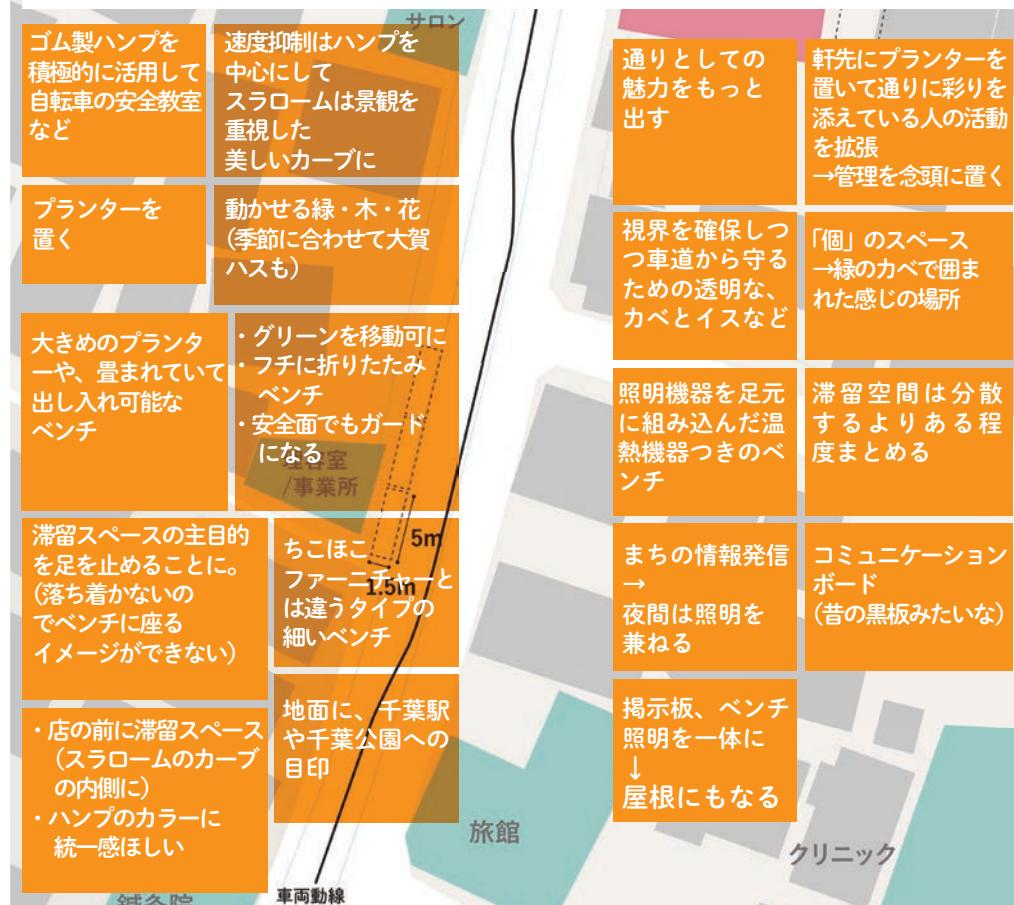
【テーマ】安心安全で歩きたくなるまちの散歩みち



- ・夜間も安心安全に歩ける環境
- ・スラローム化
- ・日常の移動の快適性を高める
- ・仮設的な滞在性向上ツール
- ・地域の情報をわかりやすく表示

【意見まとめ】

- ・ベンチは利用者が車両に対し、危険を感じるので、緑や壁などで囲いを併設すると良い。
- ・スラロームは良い。ハンプは速度抑制に効果を発揮すると思うが、それ自体の色が景観に影響与えるので、通りとして統一感の出る色が良い。
- ・緑も大きめのプランターで、折りたたみベンチがついていたりすると、イベント時も使いやすい。ベンチ設置位置は店舗前が良い。
- ・イベント情報などが更新される掲示板が欲しい
- ・イベント時には掲示板が変形して屋根になるなど、ひとつの機能にとどまらない設備があると良い。



C グループ：千葉公園通り南口エリア

【テーマ】公園通りの顔となる、沿道と連携した拠点づくり



- ・公園通りの顔とわかる拠点づくりと交通安全対策の両立
- ・飲食店が集まるエリアとしての利活用
- ・通行する人にとって沿道の壁面や店舗前が滞留しやすい設えなど見え方が重要

【意見まとめ】

- ①可動するもののアイデア
 - ・派手な看板で人目を惹きつける（公園まで〇mなど、また子どものWS、地域でつくるなど作り終わった後もきてくれるような仕組みで制作する。
 - ・千葉公園の大賀ハスを植栽として連続させるのも良い。
 - ・公園に人々を呼び込むための情報を提示（公園の花の開花情報など）
- ②道路整備へのアイデア
 - ・スラロームは良いと思う。
 - ・日かげの都合上、夏と冬で歩きたい場所が違う→植栽プランター等で可動式の歩車区分ができるのではないかと→バリアフリー上もハンプは無い方が良いのではないかと。
 - ・車道の色を歩道と同系色・同素材にするだけでも車両は速度抑制をするのではないかと。
 - ・千葉駅の千葉公園口から千葉公園通りを含め、千葉公園まで道路にライン（カラー舗装や舗装材の区別）やサイン（距離や方向の表示）等を施すことでつながりや方向性を示したい。
 - ・電柱はできれば無くしたい。

